

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス桑名野田		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出レクリエーションの機会を増やしています。 集団行動やルールを守る大切さを体験の中で学ぶことができます。	その日の児童の好きな事に関係のある場所や、事柄を選びおでかけ先を設定している。一人ひとりのペースを大切にしながら安心して外出ができるように計画しています。	年齢差があり、楽しめない児童が出てしまうことがある為、全員が楽しめるような場所や工夫を行っていく必要がある。
2	調理レクリエーションを通じて子供達が楽しみながら、考える力・やってみる力・人との関わる力を育んでいます。役割を大切に無理なく参加できる環境を整えています。	児童のリクエストを聞き、食べたいもの作りたいものを作るようにしている。食材を切る、混ぜる、盛り付けるなどの工程を通じて子供達が役割を持ち主体的に参加ができる。季節感のある食材やメニューを取り入れることで五感を刺激し認知能力や意欲向上にもつながっています。	好き嫌いが多い児童もいるため、嫌いな物でも食べられるような調理の仕方や、工夫を行っていく。工程での「できた」を言葉にしていき達成感を味わってもらえるような声かけ支援を強化していきます。
3	児童とのコミュニケーションが深くとれています。 日々の関わりの中で信頼関係を築き小さな変化や思いをくみ取ることができています。	児童の気持ちに寄り添い、児童が言ったことや行ったことに対して、否定的なことを言わないようにし、受け入れたうえでこちらの気持ちを伝える様にしています。	職員によっては関わりが少ない児童もいるため、関わりを深く持てるような支援をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有や意見交換が十分とは言えず支援内容や児童の様子についての共通理解にばらつきがある。	朝礼等は行っていますが、支援中に起きたことに関して言いたいことを我慢して言わないことが多いため、コミュニケーションが少なくなってしまう。支援方法についての相違もあります。	言いたいことを言い合える環境づくりを行っていきます。 意見や気づきを間違いではなく気づきとして受け止めることで発信しやすい職場環境を目指していきます。
2	地域との連携や交流機会が少なく地域に開かれた活動が十分ではありません。	感染症などを気にして人が多い場所へは参加しないことが多い。地域のイベント情報の情報収集が出来ていないことがある。児童の状況によって大勢の場所をさけてしまう。	地域のイベントへ積極的に参加し知ってもらい活動にも力を入れていきたいです。 外出経験をしてもらえるように計画をたてていきます。
3	利用児童の年齢差が広い為、集団レクリエーションや工作の工程に偏りが出てしまう。	全員が楽しめるレクや工作が少なく、どうしても偏りが出てしまう。児童の発達に応じた対応が実施できていない。	偏りのあるレクや工作をする際は、少しでも楽しめるようルールや工程をその児童に合わせて行う。また、大きい児童へは役割を与え、レクや工作への参加を促していく。